# 旧佐川邸公園の公園化を考える会 議事録

令和3年4月25日13時00分～15時00分＠上水南公民館

出席者：15名（敬称略）

ランドスケープデザイナー　S、S

小平市議：橋本（久）、水口、安竹（氏名順）

記・安竹

当日配布資料：請願、水と緑と公園課とのミーティングメモ、計画案についての意見

頂いた資料：ご講演の資料PDF

## **請願について**

* ３月の小平市議会定例会で採択された請願についての報告。詳細は、会議録や会議の動画ご参照を。公明党は請願に反対だったものの、定例会後の個人的なやりとりの中では、全体としての思いは同じということを確認。（安竹）
* 総務委員会の審議で津島氏は一般寄附であることを強調していた。一般寄附なので、焼いて食おうが煮て食おうが、市のものなのでという話だった（K）
* 負担付き寄附ではなく一般寄附だから（公園の整備にお金を使ってはらなない）という点については、事前にS氏に確認し、論拠がない話となっている。つまり、公園の整備に市のお金を使ってもよいし、使わなくてもよく、それは法律で決まっているわけではなく、市の意思による。総務委員会でもその点を指摘した。今後、市が同様な論理を持ち出してきた場合、誤った認識であることをしっかり指摘すればよい。（安竹）
* 当初、片桐部長とやりとりしていたときにはよく分かっていただいていたが、部長が津島さんになってからそういうところが歪んでしまった。（S）
* 請願が採択されてもどこまで実現されているのかといつも思う。過去の請願は、どういう形で決着しているか（K）
* 今までの請願がどう扱われたか報告すべきではないかという話が、先日の幹事長会議であった。議会として担当部局に報告を求めているが、何も対処しない場合は報告がない。何かした場合は報告がある。そこはおかしい。対処されないままになっている請願が現状で29件ある。武道館の請願については、議長として担当部局に報告を求めるということを決めた。残り28件はなにもないまま。報告をする仕組みが必要。（水口）
* 法では、請願について、採択されたものを必ず実施しなくてはならないという義務はない。議会でも、過去の請願の進捗はどうなっているかという質問があった。市としてはやっていないという答弁だった。（K）
* 市の責任ももちろんあるが、議会の責任でもある。一般質問の答弁は、「研究します、検討します」の答弁。いつまでに研究・検討するのか、どうだったのかを報告しろといっているが、報告されたことはない。それを許している議会の責任でもあると思う。今回の請願は、与野党越えて7人関わっており、画期的で実現するチャンスがある。（橋本）

## **水と緑と公園課とのミーティングについて**

* 詳細はミーティングメモを参照のこと。
* 来年3月に年度予算を立てるが、そこに入れ込むためには10月くらいまでにはっきりさせておく必要がある、そこに間に合わなくとも補正予算を組むことが可能。全体の額からいうと、たいしたことのない額なので、あまり10月に縛られる必要もない（橋本）
* 市からの支出について市長が積極的にやるなと言っているのではなく、財政課がそういう話を出して、市長がそれに乗ったようなところがあると思う。整備の優先順位が低い（橋本）
* 井戸については前市長が子供のころ掃除をさせられたので設置をしたくないという、そういう話もあった（水口）
* 前市長のとき、数百万のお金をかけて井戸を作るのはコストパフォーマンスが悪い、普段は何に使うのか、といった発言をしていた。担当部署はそれを忖度し、井戸といえば否定的な話しかしなくなった。このコストパフォーマンスが悪いという話が発端になったことにつきる。（K）
* 災害の可能性は低いが、一旦大災害が起きると非常に大きなコストが発生するので、期待値は低くないはずで、コストパフォーマンスが悪いという話にはならないはず。（安竹）
* 公園内通路の金額が多めに見積もられていることを自ら指摘するなど、佐藤課長は計算の見直しに前向きという印象だった。（安竹）
* 財政課とのミーティングは6月中でという話だったが、すぐに佐藤課長が財政課に確認してくれて、６月中は非常に忙しくなるとのこと、５月末で調整したいという話だった。（安竹）

## **金曜日の臨時会について**

* 金曜日の臨時会で、小林洋子市長の所信表明の際、「旧佐川邸公園の整備を今後どのように進める予定か」という緊急質問を行った。市長になったばかりなので新しいことにも取り組みやすく、請願の紹介議員にもなってくれていることから、「ふるさと納税の活用も検討する」など前向きな答弁をしてもらえるのが当然だと思っていたが、驚いたことに、市のこれまで通りの答弁だった。ふるさと納税のふの字もなく、非常に残念だった。小林市長とつながりが強く、ふるさと納税やクラウドファンディングの活用をこれまで訴えてきた竹井さんに、ぜひともお力添えをお願いしたい。（安竹）
* 市が頑なに拒否しているのは、ひとつは前例を作りたくないというところがあるのかも（橋本）

## **アンケート調査結果について**

* （S氏よりプレゼン資料にてアンケート調査結果についてご報告いただきました）
* どういう公園を整備するかと、できた公園とのかかわり方を踏まえてご意見伺えれば。
* （公園計画案-２を提示していただきました）
* 柵、フェンスについては、近隣と接したところはしっかりしたものを用意する必要があると思うが、開放的なものがいいという意見もあるので、利用者のニーズ、予算に見合ったものを落としどころとして提案できればと考えている。（S）
* 2～3日前にむさしの森を見に行った。井戸とマンホールトイレをセットにしたものがある。井戸で15基、マンホールトイレの穴も多くある。米軍基地跡で、膨大な土地があるところを都が時間をかけて作った。防災をポイントにおいた公園づくりで、遊び道具が一切ない。だだっ広い芝生と、トイレと池があるだけ。東京都の公園課に行って話を聞いて来ようと思っている。（K）
* できた公園とのかかわりあい方については、武蔵野市の市民の森公園の「もりもり森クラブ」のようなものをつくるとよいのだろうか（S）
* 道場関係者にも公園ができた後も合気の聖地として関わっていただけるのか。（S）
* 高野山に立派な顕彰碑があるので、ここに集まってなにかをするということはないのでは。佐川先生のいわれのある公園だと分かれば、それでよい。（S）
* 小平市のアダプト制度は、市民に負担が大きい。スポット的な場所を管理するのではなく、公園全体を管理することを求めている。それとは別に、公園ボランティア制度がある。そちらであれば近所の方が参加しやすい。（K）
* 防災的には、（遊具などは）なにもない方がありがたい。（W）
* 公園の見守り制度のようなものに参加し、公園のすみに掃除用具をおくなどして参加してもらう、ゴミ箱を置いて、自治会でゴミ袋を用意しているのでご近所の方にゴミを入れてそこにおいて持って行ってもらうようなどした方が、地域の人は関わり合いができて、公園にかかわれる、その方がいいのではないか。（W）
* 市が維持管理している公園は、シルバー人材センターで月に1回くらい清掃をやっているはず（安竹）
* 防災井戸に関して、自分でも井戸をつくったが、最近雨が降らないので水が枯れたことがあった。地域とかかわりあいながら、防災井戸から震災があっても出ない場合もあるといったことも知ってもらうことも大切。地域の自治会などがかかわって、水がでるかといった状況なども確認していくことも必要。（W）
* 植樹などができればいいが、アダプトでないとできないだろうか。（S）
* 住民による管理のことを、他自治体のことも見ながら、我々として踏まえたうえで、小平市にも提案できるようにしていくのがよい。（S）
* もりもり森クラブも運営は大変だったようだ。ボランティア制度で可能な限り対応してもらうというところか。（S）
* アダプト制度とボランティア制度でできることの違いについて調べることも必要。ボランティア制度に不足することがあれば制度として拡充ができれば。（安竹）
* みんなに親しまれている公園になるところまでは、道場関係者の方々にフォローしてもらうなど。ふるさと納税とはまた別にそういう仕組みもあるのでは。合気と健康を絡めるところもあるので、合気を指導するわけではないが、なんらかの活動で先生の思いを伝えることができればと思う。（S）
* 井戸だけに限っていえば、中央公園に井戸を作った場合、井戸については井戸の会が守っていくという話をしている。佐川邸に井戸ができた場合も、住民の方々と一緒になって、井戸を守っていくことは井戸の会で当然やっていくつもり。公園に植栽などは周辺住民の方々が。（K）
* 防災倉庫の管理は自治会になるか。自治会がもっている防災倉庫として、この公園に置くのか（S）
* 段ボールベッドなどをあわせると、都の助成金でモノは買えるが、入れ物がない。うかつに公園に置くと、10㎡以上のところは建築確認がいる。公園課に問い合わせると、広い道路に面していない場合は、倉庫の奥行きが1メートル以下でないと設置できないとか、小さいプレハブでも二つ並べるとダメ、ひとつにするとか、相当ごちゃごちゃ言っている。防災倉庫は危機管理課か。倉庫もまだまだ自治会でほしいくらい。自治会の管理でやることは問題ない。（W）
* 防災倉庫などは自治会で管理できるニーズがあるというところも盛り込んで。（S）
* 次の一般質問は防災にする予定なのでそこでも確認していく。（安竹）
* 市の財政課からは、倉庫を置く場所を一部買い取ってもらい、そこに置いてアダプト制度などで管理するというような話もあった（S）
* 占有許可を取ると倉庫ができる。自治会のお金でやろうとすると何十万円もかかるが、すべて補助で賄えるはず。（K）
* 危機管理課で倉庫を立ててもらったのもあるが、自治会で買っている。自治会の場合は占有の許可などはなし。公共のために使うものなので、公園課の方で、周りの樹木に影響がない、道路の条件があえば、いくらでも作って下さいという話だった。（W）
* 防災ベンチの、かまどベンチで燃やすものはどうするか、そういったものが倉庫に入っていてもいいし、水が入っていて、炊き出しができるくらいの最低限のものがあってもいいのかもしれない。あとは発電機を入れたり。（W）
* エコまるくんというのがある。浄化装置を置いておき、水を循環させて一基で設置するというものが、昭和病院前のPCRセンターのところに設置されている。東部公園にモデル設置されていたが、それほど大きくはなかった。5メートル四方くらい。（水口）
* 使いやすくていいが、高い。400万円くらい。台数が出てないので。自己完結型で、電源も太陽光発電、水も一回入れるとそれ以降一切必要ない。入り心地もよい。近くに公園のトイレもあったが、公園に来た人は、エコまるくんの方が使いやすく、そちらを使っていた。モデル的な公園としては、アピールできると思う。（W）
* 小林市長も見に来た。いいなという感じだった。バイオマス。（K）
* 市のプランではなかったり、否定的な方もいらっしゃったり、コスト的な問題もあるので、担当課と調整かと。（橋本）
* 市長が防災を売りにしているので、モデル公園として入れてくれる可能性もある。（安竹）
* 防災訓練としてテントをはって一晩すごしたことがある、簡易トイレも作ったが、使った人がいない。体育館に外から入れるトイレが一つあり、それを使ってなんとか用をたした。マンホールトイレもあるが、ビニールで囲われたトイレ、簡易トイレは自分で用をたしたら、それをぶらさげてゴミ箱のところまでいかなければならない。マンホールトイレ、簡易トイレ、訓練で実際に使ってみると使えない。エコまるくんや、学校のトイレにビニールを置いて可燃物のところに運ぶなどの方が安心できる。訓練で使ったことがないものは、実際に災害になったときに使えない。（W）
* 担当課に確認したときも、防災訓練で実際に使ったことがない、予定もないということだった。マンホールトイレも音が漏れるから、災害の際には多くの人が使いたくないと思うだろう。防災訓練で実際使わないと意味がない。（安竹）
* こどもの遊具を置くとしたら、どういうものが想定できるか。（S）
* ある程度年齢がいった中学年以上は遊具なしにして、小さい幼児に対し、ひとりで遊ぶのが大変なので、親が一緒にきて遊ぶなど、ニーズがあるならおいてはどうか。スプリング遊具、乗ってゆらゆらするものとか。大きくなったら広場で遊ぶ。（S）
* 上水南公民館の前にも、小さい砂場と滑り台があり、遊んでいる。ただ、できれば、何もない方がいい。（W）
* 以前周辺に調査した際は、避難場所として使うことを考えると、しっかり柵を作ると回ってこないと公園に入れなくなるので、柵は低いものがよいという意見が多かった。窓のところは木か目隠しがほしいが、家の窓のところに木が一本あれば、ということだった。（S）
* 西側の大きな家と北側の集合住宅があり、大きな家にお住まいの方はブロックでお願いしたいとのこと。そこは話し合いが必要かと。市の方で話し合いをしてもらえばよい。（橋本）
* 西側との段差については、盛り土にすこし傾斜をつけて、高くするという方法もある。（S）
* 倉庫を立てたく、いろいろな公園を歩いているが、柵の木の間から子供が飛び出して、ブロック塀をよじ登って飛び降りる。鬼ごっこをしているときに道路に飛び出す恐れがある。木もいいが、小さい子はそれをすりぬけ、飛び出すことがある、そういう子供たちのために、フェンス金具でもいいが、そういったものが必要かとも思う。（W）
* どういう公園になるかというイメージのところは、Wさんが送ってくださった、施設のオープンスペースを自宅の庭として使う、公園を庭としてつかうようなところを納得してくださったらよいのではないか。（S）
* 広い緑のある公園というよりも、水があったほうが、親しみがある。小さい子も水によってくる。池はボウフラがわくということだが、魚も入れておくとボウフラ防止になる。非常用の水ということだと、ろ過機の担当者に、どういう水ならろ過して飲めるかを聞いたことがあるが、魚が住める池であれば、緑色であろうが、ろ過して飲める水になるとのこと。汚い水かもしれないが、魚がいるなら危ない水ではない。子供たちにも魚がいることがよい。震災井戸の水を流して池に入ってくなども。（W）
* 公園ができたあとの維持管理を自治会とボランティアで。池をつくるなら、池の管理。植栽、一般的な清掃など、近隣住民としては中途半端になって荒れ放題になることが一番困るので、公平に分担できるような方策が必要。なんでもかんでも自治会となると問題なので、それを担保しないと。公園ができてから何十年も続くことなので。（K）
* 木を植えなくとも、鳥がどこかから種を運んできて、住んでいる人間には意図しないところで木が生えることもある。防災倉庫を管理しているときも、倉庫をつくったときは小さな木だったのが、放っておいたら大きくなって、近所にはみ出したり、冬に北側の家を遮ったり、切ろうと思っても大きくなると切れなくなってくる。十年、二十年たつと思わぬ大木になったりする、そのあたりどうするかというところがある。（W）
* 市の公園の場合、月に1度、シルバー人材センターの方がきて枝払いなどはしてくれる。（K）
* 小さな防災倉庫があるところまで張り出している、刈ってくれるが、一年経つとまた出てしまう。（W）
* フェンスについては、お宅ごとに要望が違うと思うが、ワークショップで意見をまとめてしまえばよいのではないか。（H）
* 西側の通路脇の方は、通路の土地を売ってほしいという要望を小平市に出していた。通路として通ってほしくないのではないか。（S）
* 佐川邸がある時には、こっそり通ってしまう感じだった。近隣に住んでいる方はあまりよく思われていなかったかもしれない。（K）

## **公園プランについて**

* （S氏に、さまざまな設備・舗装等と、公園計画案-２を提示していただきました）

## **今後の活動・スケジュールについて**

* 市がもっている管理の方向性をみながら、こういうことを考えていますといったことを報告した方がよいと考えている（S）
* 基本はいまのプランで、5月末の財政課とのミーティングに向け、概算工事費の提示をしたい。池については設けるプランで検討し、調整の中で再検討するという方法がある。あとから池を増やすよりは、あとで削ったほうがよい。考え方としてこう考えていますという整備をし、アンケート結果をベースにしていく。（S）
* 5月末に財政課と話す際には、クラウドファンディングとふるさと納税を活用するということを検討してほしいと。（橋本）
* 竹井さんは小林洋子市長とのつながりが強く、クラウドファンディングの活用を訴えてきた。とても期待している。（安竹）
* 灯篭が倒れる恐れなどに関しては、そういったこともちゃんと気にして整備する、ということでよい。（S）
* 公園内の通路については、車椅子のすれ違いについて、途中でよけられるスペースを設けるという案もある。（S）
* フェンスについては、民家と隣接している部分以外は、植栽でたちあげておき、走りながら通り抜けられないものの、パッと乗り越えられるものを設けるなど。（S）
* ボール遊びは地面に高低差をつけておけば、それほど危ない遊びはできないだろう。（W）
* 金額的な目途を立てて、財政課と話をするということで。アンケートをしてくださった方への報告は、自由意見をある程度整理し、こちらに投げられたことを回答し、今後検討を進めていくといった形で返せばよいのでは。公園のプランについてのスケッチもつけて。（S）
* その際、請願が通ったこと、次回の日程も載せるとよい。（橋本）
* アンケート集計と計画案については、Sさんにお願いいたします。（S）
* 市も前向きに検討しているということを強調し、請願が通ったということを言えば、最近この会に来なくなった方も来てくれるかもしれない。（橋本）
* 自治会の会報で、近隣だけではなく、自治会のエリアで配る際に、あわせて出すようなことは可能。1か月前くらいに連絡いただければ。（W）
* 報告書と一緒に、ワークショップの案内が出せれば。（S）
* 公園課のミーティングに参加した議員の名前も入れ、「こういう議員が応援している」といったことを入れてもいいと思う。（橋本）
* ワークショップを7月半ばにやるとすれば、6月23日の週の水曜日くらいまでにもらえれば、7月3日の配布に間に合う。7月3日（第1週の土曜日）に資料をもらう場合は、8月が会報を配るのが休みなので9月になってしまう。（W）

## **宿題**

* 財政課とのミーティングまでに、新しい公園案を作成いただき、概算を出していただく（S）
* アンケート結果の報告とワークショップの案内の案を作成する（S、S）
* 5月25日（火）16時から財政課とミーティングが可能かを調整する（安竹）
* アダプト制度とボランティア制度の違いを調べる（安竹）

## **次回**

6月6日（日）10:00～12:00（全体）

内容：新しい公園プランについて、財政課とのミーティングの内容